

「日本の財政の真相」

日本の財政は危機に瀕しています。国の借金は2013年には、とうとう1000兆円を超えました。安倍内閣になってようやく借金が税収を下回りましたが、民主党政権下では税収以上の借金をしなければ予算をまかなえなくなっていました。年金・医療・介護も大きく見直さなければならなくなっています。日本の財政が、もたなくなってきたのです。何故こんなことになってしまったのでしょうか？

平成26年現在と35年前の昭和54年の歳出予算を比べてみると、歳出総額は386兆円から959兆円と、約2.5倍に増加しています。しかしその内訳を見てみると、社会保障費・国債費・地方交付税交付金を除いた、純粋に国家運営の為にだけ使える部分の予算は、216兆円から26兆円と、約1.2倍にしか増えていません。地方交付税交付金は、5.3兆円から161兆円と約3倍になっています。社会保障費は、7.6兆円から305兆円と約4倍。国債費つまり国の借金の返済や利息の支払いは、4.1兆円から233兆円と約5.7倍になっています。

実は現在、約96兆円の予算がありながら、国が使えるのはたったの26兆円で、残る70兆円は、社会保障や借金返済や地方に配分するために、どうにも使えないし減らせない費用に回ってしまっているのです。

国の予算は歴史的に、地方への配分を大きくしてきました。そして少子高齢化の進展と、社会保障の充実によって膨大に社会保障費が膨らんできました。そしてこの地方費と社会保障費の膨張に対応する為に増税をしなければなりません。増税の度に政権が崩壊し、増税が思うように進まず、それを赤字国債で賄ううちに、国の借金は急膨張して、国債費を激増させてしまったのです。

本来赤字国債は禁じ手です。ですから毎年国会で特例法を成立させなければなりません。それがずっと常套化し、とうとう民主党政権下では、**増税を超える赤字国債を発行するまでに財政規律は崩壊してしまつたのです。**

増税に対する反対の声は常にあります。喜んで税金を払う方は誰も居ないでしょう。

しかし、もうすでに96兆円のうち70兆円もの固定費があり、社会保障費が毎年1兆円ずつ増えていく中で、26兆円しかない国家の実質予算をどう節約しても、焼け石の水にもなりません。予定されている消費増税も含め、今後も増税を続けると、日本の財政はもたません。これまで増税してこなかったつけを払わなければならないようになっていくのです。

もし増税せずに、今後も借金を続けていったらどうなるでしょうか？それは日本国債の暴落と、それを買い支えている日本銀行の発行している日本円の暴落です。もしそんなことになれば、エネルギーのほぼ全量と食糧の6割を輸入している我が国にとっては、壊滅的打撃になります。物価の暴騰によって、経済システムが麻痺し、配給制にでもしなければ、生活必需品の供給もままならなくなる可能性が高いと言わざるを得ません。多くの餓死者や凍死、熱中死する方も出てくるでしょう。

東日本大震災の時、ワールドカップ予選の敗戦の後、日

本人の慎み深い忍耐強さと規律正しさは世界中から賞賛されました。私達は今また試されているのだと思います。国民全体でこの国の苦境の痛みを分かち合い、乗り越えていくことを。私は日本人は聞き分けの無い国民ではないと思います。ここまで事態を悪化させて来たのはこれまでの政治の責任でしょう。しかし同時にマスコミにも大いなる責任があると思います。真実を伝えず、国民に正しい認識を持たせず、判断を誤らせてきたのは、マスコミの伝え方の責任です。日本人は正しい認識さえ持てれば、わがままを言わず、忍耐と協働で苦境を乗り越えられる民族だからです。

表現の自由はあっても、影響への責任も同時に背負わなければならないはず。国民の幸福がすべての最大目標であるはず。マスコミのあり方、政治のあり方、行政のあり方、そのすべての制度疲労が今の苦境を生み出していると思います。日本を健全な国にしていけるよう微力を尽くします。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebookアドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください！お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

